

平成22年 第一回定期講演会 平成22年4月24日 於：グリーンタワー千葉

INDEX

第一回定期講演会	1
現役を引いたから言えること (うすい日出男)	3
委員会報告	2~4
会員異動/スケジュール	4

有意義だった!! 平成21年度第一回定期講演会

月星会 第1回 定期講演会



去る4月24日、経営促進部学修委員会の主催で講演会が実施されました。参加人数は60名を超え、急いで会場に椅子を増やした程の盛り上がりでした。情熱的に語る矢野先生の言葉は、皆さんの心に勇気をみなぎらせ、今を生きる我々が、未来をどの様な観点で考えれば良いのかを示唆してくれました。

今回は「今そこにある危機！政治と経済」がテーマでした。

～「賢者は歴史に学ぶ」と言うビスマルクの言葉は重要だけれど、今日の社会情勢は経験に学ばざるを得ない程激変している。まずそれを認識しましょう。自由・平等・公正の20世紀から21世紀は自由・公正・自立に変貌している。早急に「洋魂洋才」の社会風潮を明治の精神である「和魂洋才」に改める必要がある。敗北した日本国民は、倫理観、正義感、誇り、恥、を見失ってしまった。戦後教育がそうさせたが、これを改め、自分の生きる道を知らしめる「自立心」を養う教育にしなければならない。それは、人間力＝真、善、美、を探究する心であり、判断力＝決断力、実行力をつける事である。

日本は1945年に敗戦したが、1968年にGDPが西ドイツを抜き世界第二位になった。幾多の危機を乗り越えた日本経済だが、1985年プラザ合意と言う形で円的大幅切り上げを余儀なくされた。これは、米国が日本に仕掛けた金融戦争である。これに負けた銀行はニューヨークから撤退させられた上に哲学を無くした。現代の不安定な経済情勢は哲学無き金融に端を発している。鳩山内閣は現在の情勢を診断していない。診断は、「デフレ」が経済をシュリンク

させる、「選挙を意識したばら撒き行政」がバランスを欠いた社会を形成してゆくの自覚する、である。国民は「民主党政権が日本を滅ぼす事」を意識しなければならない。日本の未来は、技術立国、環境立国、教育立国、ソフト開発立国として進めば開ける。

客観化能力を高め、人間尊重をして、公に尽くす心、未来の為に尽くす心を持ちましょう。～

文責：学修委員会 金田 敏彦

委員会報告

例会企画委員会

朝食会レポート

平成22年3月13日(土) 於：グリーンタワー幕張

3月度の朝食例会は最後の冬時間。通常よりも30分遅い、7時30分開会となった。参加人数は20名の少数精鋭な会だ。

阿佐会長挨拶の後、臼井先生からは「外国人地方参政権付与問題を考える」と題して、鳩山政権の政治姿勢、国体を滅ぼす三つの法案についてのお話を頂いた。

委員会報告の後、小川市議の市政報告では、現在進行中の市議会予算組み替えなど、ホットな情報を頂いた。

恒例の誕生日プレゼントコーナーでは3月に誕生を迎える片野洋子さん、稗田靖雄さんにそれぞれ花束が贈られた。一年ぶりに誕生日に参加の稗田さん。病魔を克服さ

れて、元気な顔を拝見出来て何よりでした!

山本相談役の「美術鑑賞の壺」コーナーでは上野・東京国立博物館で開催中の「没後400年特別展『長谷川等伯』」の紹介を頂いた。翌日NHKでも紹介がされていた。阿修羅展の時もそうだが、実にタイムリーなお話であった。

突然のご指名スピーチでは木内一晴さんより、千葉県のマスコット、チーバくんのグッズを身につけて、話題づくりに役立てようというお話を頂き、臼井先生からも、チーバくんのバッジをいつも2つ持ち歩いて人にあげられるようにしているというお話、岩田直前会長からも町内の朝市のお話が出るなど、木内さんの投げかけで様々なお話を引き出して頂けた。有難い。

最後に、稗田靖雄さんより締め挨拶を頂いた。肺がん手術を乗り越えて、完全な体調で無い中、月星会ブログでの呼びかけに応じて出席して頂いた。病院でのエピソードや、タバコは良くないなど、実体験に基づいた重みのある言葉を頂いた。

出席人数の減少傾向はなかなか止められないが、それ故に一人でも久しぶりの参加者がいるだけで、雰囲気が大きく変わる。今期の朝食例会も残すところあと2回。一人でも多くの参加と、参加者の笑顔・満足、それを祈念して止まない。3月度の朝食例会はこうして幕を閉じた。

平成22年4月10日(土) 於：グリーンタワー幕張

4月度の朝食例会は実験的に会場を従来の半分の大きさにして、円卓にて会場の設営をさせて頂いた。これは阿佐会長のご提案で、参加者がより触れ合えるようにというコンセプトだ。

結果として非常に好評だったので、今後もこのような形になると思われる。

今月の司会は産方例会企画委員会副委員長が務めた。はじめに阿佐会長の挨拶の後、臼井先生からは最近の政界についてのお話を頂いた。奇しくも「たちあがれ日本」が立ち上げとなり、仮に臼井先生が現役でいらしたらどのようなお話をされていたらどうか?そんな事を思った。

委員会報告の後、臼井正一氏の近況報告と続き、恒例の誕生日プレゼントコーナーでは今月誕生日を迎える池田徹さん、山本康昭相談役へ花束が贈られた。

恒例の山本相談役の「美術鑑賞の壺」コーナーでは先日フランスへ旅行されたお話をもとに、オレンジリー美術館の紹介、三菱1号館美術館の紹介をして頂いた。

一言スピーチは『指名のテーブル全員がお話をする』という相変わらずの例会企画委員長の無茶振りで、早野暉さん、貴嶋美知子さん、徳永康子さん、高山尚士さん、真田茂雄さんにそれぞれお話頂いた。早野さんからは、『臼井正一さんをこれからも応援するぞ』という心強いお話、貴嶋さんからは月星の役員会で役員の皆さんが頑張っているというお話、徳永さんからは息子さんが病気で倒れられて大変な気苦労をされたというお話、高山さんからは、臼井先生との長いお付き合いのきっかけのお話から正一さんへのエールを。真田さんからは、『もっともっと朝食例会に参加する人数を増やして企業のアピールをするんだ!』

という力強いお話。それぞれに个性的でバラエティーに富んだお話を頂いた。これぞ月星の醍醐味、有難い。

最後に阿佐例会企画委員会副委員長よりフクロウ募金の発表、そして再度のご指名で早野暉さんより締めの挨拶を頂いた。

5月の朝食例会をもって今期の活動も終了となる。参加人数の減少は課題ではあるものの、個性あふれる会員の話をいかに引き出していけるか、そしてそれをどのように役立てていけるか、最後の朝食例会への課題としたい。

皆さん是非、ご参加を!

参加者21名 ふくろう募金4,370円

平成22年5月8日(土) 於：グリーンタワー幕張

5月度の朝食例会をもって今期の月星会の行事は全て終了。

有終の美を飾った司会はこれも美しい徳永康子例会企画委員会副委員長。

阿佐会長の挨拶では来期に向けて会則などが一部変更になるなど、来期へ向けたお話を頂いた。

臼井先生からは、数日紙面を賑わしていたギリシャ問題について『ギリシャに比べれば日本の底力は比較にならないほど凄い』というお話や鳩山政権の運営について思う所をお話頂いた。

各委員会の報告の後、臼井正一氏の近況報告、小川智之市議の市議会報告と続き、恒例の誕生日プレゼントコーナーでは今月誕生日を迎える阿佐一郎さんへ花束が贈られた。

山本相談役の「美術鑑賞の壺」コーナーではボストン美術館展と細川家の至宝展の紹介がされた。2年間に渡り16回もの回数を準備、講演頂いた。会員の中にはこれを機会に美術展に足を運んだり、美術へ興味を持ち始めた人も多い。この場を借りてご協力に感謝m(__)m

ビジター紹介では貴嶋美知子さんの紹介で、(株)かがみの杉崎一男さんにご参加頂き、ご紹介させて頂いた。

最近企業PRの場が少ないということで、今月は若手を代表して(株)岩田被服の岩田直人さん、(有)石の三徳の木下英之が最近の会社や業界の動向について話をさせて頂いた。

それぞれに興味深く特色ある話で会員の興味を引いた(と思われるが、いかが?)。

最後に林例会企画委員会副委員長よりフクロウ募金の発表、伊藤義國さんより締めの挨拶を頂き、3本締めにて閉会となった。

今回の朝食例会をもって今期の活動も終了となった。来期では参加費の変更なども含めてより参加しやすいような改良がされるようだ。早起きは3文の得どころか無量大の得だ。是非これからも朝食例会へこそってご参加下さい!!

2年間に渡りご協力本当にありがとうございました。紙面を借りまして御礼申し上げます。

参加者30名 ふくろう募金¥6,663円

文責 木下英之例会企画委員長

日本は何処へ行くのか

うすい日出男

政治家トップの疑惑の重さ

いよいよ鳩山内閣の支持率が20%を切ろうとしている。それは当然の結果で、政府与党のツー・トップが政治資金違反事件でその責任を問われているし、鳩山総理は起訴にこそならなかったが、「母親からの月額1600万円にも達する巨額な生前贈与を、本人は全く知らない」との発言や、「秘書が独自の裁量でしかも現金で金を受け取ってしていたことを全く知らなかった」などと言う話を誰も本当の話と信じまい。小澤幹事長の土地買収資金疑惑も、検察審議会が全員一致で「起訴相当」と、最も重い判断を下したことも、「最大の権力者である小澤幹事長の了解なしに、秘書が独自の判断で金を動かすことなど出来ない」と言う庶民の率直な疑問に答えるものと言える。しかしこれらの問題は、政治家個人個人の資質に関する問題で、個人が正当に罰を受ければそれで済む問題だが、いま民主党が行おうとしている施策の幾つかは、日本の「国体」そのものを危うくし、日本を滅ぼしの道を選びかねない危険な要素を孕んでいる。

米国の信頼を損なう普天間問題

普天間移転問題も、かつて自民党が沖縄の日本防衛の礎として過重な負担に苦しんでいることを踏まえて、敢えて強権を振るわず、辺野古沖合移転について、住民の意向に配慮しつつ行動して、推進派市長を二期に亘って当選させて、いよいよ最後の詰め段階に至った時に政権交代が起きた。鳩山総理の「県外移設発言」により、沖縄県民の過大な期待を呼びながら、米国の了解も取れず、沖縄県民への県外移転の約束も守れない状況で5月末の期限を迎えようとしている。ワシントンポストの鳩山総理に対する“愚か者（LOOPY）”発言を国際社会の日本への評価と、我々も厳しく受け止めなければならない。

日本を滅ぼす三悪法案

私が何よりも危惧しているのは、いま正に国会提出されようとしている三悪法案である。即ち「人権擁護委員会法案」

であり、「選択式夫婦別姓法案」であり、「永住外国人への地方参政権付与法案」である。これらの法案はどれも、良き日本の伝統、民主主義、自由主義を破壊する大きな危険性を孕んでいる。

「人権擁護委員会法案」は、令状主義を憲法で謳っている日本にあって、令状も必要とせず、人権侵害の救済や防止のために強力な権限を行使出来る三条委員会を作ろうとするもので、明らかに憲法21条の「表現の自由」、及び憲法35条の令状主義を犯すもので、憲法違反である。加えて「委員の資格が日本人に制限しない」となると、驚きで二の句がつけない。

「選択式夫婦別姓法案」は、「社会で働く女性が、勤めの途中で姓が変わるとマイナスを受ける。選択式だから他に迷惑を掛けない」と主張しているが、全くの詭弁で、日本の良き伝統的な家族制度を根幹から破壊するもので、反対である。

「永住外国人地方参政権付与法案」は、「日本に永く住んでいる外国人に対する権利の付与として、地方参政権を付与しようとする」ものだが、これも「憲法第15条1項の、国民主権の原理に基づき、公務員を選定し、及びこれを罷免することは、国民固有の権利であるとする憲法違反である」とことは明白である。特に民主党は参政権付与を朝鮮半島出身者とその子孫である“特別永住外国人”の枠を超えて、約100万人に及び“一般永住外国人”にまで拡大して与えようとするのが大問題で、特に外国人登録65万人を超え永住中国人数も約14万人を超え、年々急速にその数を増やしている中国系外国人に与えることは、尖閣列島、沖縄米軍基地問題で緊張を増しつつある日本の国益を犯すことになり兼ねず重大問題である。

鳩山総理が常に口にしている「日本列島は日本人だけのものではない！」とする発言も、単に雰囲気作りの口当たりの良い修飾語としてだけのものならばともかく、本気で実行しようとするとは、我が国の国益を損ない、日本の国体を危うくするものとして、なんとしても阻止しなければならない。総理就任以来の鳩山総理のくるくる変わる発言をみていると、単に「発言がぶれる」と言うものではなく、「平気で嘘を言い、それを自覚し反省しない」と言う恐るべき人物であることが判る。鳩山総理はいい加減に退陣を決断すべきだ。今後の政界再編は、正に「これからの日本をどうしようとするのか」の一点で行われるべきと考える。

青年経営者共育委員会

平成22年3月24日(水) 於：千葉市生涯学習センター

拡大版基礎学修会報告

委員長 小川智之

3月24日(水)に青年経営者共育委員会主催の基礎学修会を開催しました。本来ならば、10月に定期講演会という形で開催するはずだったのですが、諸般の事情により開催が延期され、3月の通常的基础学修会を拡大版と称して、いつもより広い千葉市生涯学習センター 3階の大研修室



で開催しました。会員が17名、ビジターが14名とますますの入りでしたが、もう少し会員の皆様の出席が欲しかったところでした。これは、事前の周知が不足していたものと大いに反省しております。

さて、今回の講師には、ジェフユナイテッド株式会社の三木博一社長をお招きしました。以前より、本市をホームタウンにしているジェフ千葉を盛り上げたいとの想いから、一度講演会を開催したいと思っていたのですが、ついに昨季はクラブ発足以来初となるJ2への降格をしてしまいました。逆に今だからこそ、今後のチーム運営について聞くことはこの低迷している景気の中で喘いでいる私たち中小企業の経営戦略の一助になると考え、今回、再度企画したのであります。

講演テーマは、「WIN BY ALL!」～魅力あるクラブづくり・地域とともに歩むクラブを目指して～と題しまして、レジュメに基づき、クラブビジョンの説明や地域密着の意

味合い、そして、一番の肝であるプロサッカークラブの経営については、各クラブとの比較表を利用してご説明いただきました。

これまで各クラブ経営状況を知りませんでした。純粋に入場客数で賄えるのは浦和レッズや鹿島アントラーズぐらいで、ほとんどのクラブは、スポンサー収入がメインになってしまっている現状など認識しました。また、J1とJ2では、経費も倍近く違うことを知りびっくりしました。三木社長もこれだけ選手に高いギャラを払っているのだから、J2チームを相手に負けるのは許せないという憤りを隠せない様子でした。

今回のご講演を拝拝して、これまで、ただ観て楽しむだけだったジェフの応援が、千葉市民として、また、一経済人として、どのような支援が出来るのか考えるいい機会になったのではないかと思います。是非月星会としても、一度会員で観戦に行く企画をしたら、面白いと思います。

親睦企画委員会

平成22年4月4日(日)

於：美弥和(みみわ)

春の宴「花の歓笑会」

委員長 竹口満代

親睦企画委委員会の最後の行事が終わりました。

花曇り少し花冷えの5時より、会員さん26名、ビジターさん14名、沢山の方々にご来席いただき笑いの中の春の宴でした。

演目は春にちなんだ、よくご存知の「長屋の花見」臼井先生を囲む会という事で、真面目に「百年目」。こちらは涙もちよっぴり、心改めさせる



お話でした。

懇親会は美弥和さんのお手づくりのお料理を頂き微酔機嫌の皆様でした。

ご来席頂きました皆様ありがとうございました。

2年間で協力を賜りありがとうございました。厚く御礼を申し上げます。



会員異動 * 退会

末 續 良 江氏 会社廃業による
末 續 浩 和氏 会社廃業による
海老沢弘一氏 病氣治療のため

* ホームページ新設

●小野洋子 (有)ディアデム
<http://diadem1991.com/>

6・7月の主なスケジュール

6/ 5 (土)	平成22年度定時総会 18:00開会 ホテルグリーンタワー千葉
6/ 7 (月)	役員会 18:00三役会 18:30開会 プラザ菜の花
6/12 (土)	6月度朝食例会 6:30受付開始 7:00開会 参加費2,000円 ホテルグリーンタワー幕張
7/ 5 (月)	役員会 18:00三役会 18:30開会 プラザ菜の花
7/10 (土)	7月度朝食例会 6:30受付開始 7:00開会 参加費2,000円 ホテルグリーンタワー幕張

編集後記

会報作りを仰せつかって早2年。ふた月に一度のペースは結構大変でしたが、副委員長の内藤さんや奥平さんをはじめ委員の皆さんの尽力によってなんとかクリアできました。途中で臼井先生の国会議員ご勇退があり、記事づくりに戸惑ったこともありましたが、臼井先生は会報「つきぼし」の編集に積極的に協力して下さいました。座談会や対談は予定時間を毎回オーバーしていましたが、先生自身が時間を気にせず、気持ちよく本音を語っていただいたのでとても助かりました。今年に入ってから、先生自らにご執筆をお願いしましたが、今号もそうであるように、迫りに満ちた説得力のある文脈に唸りながら原稿を読んだものでした。臼井先生、ありがとうございました。そして会員の皆様、2年間拙い会報編集にお付き合いただき厚く感謝申し上げます。(栗原)